

# NETGEAR®

---

## ReadyNAS

### ハードウェアマニュアル

ReadyNAS Duo v1

ReadyNAS NV+ v1

350 East Plumeria Drive  
San Jose, CA 95134  
USA

2011年12月  
202-10987-01

© 2011 by NETGEAR, Inc. All rights reserved.

## テクニカルサポート

電話によるサポートサービスを受けるには、ウェブサイトまたはお電話による事前登録が必要です。詳細は、本製品付属の登録用紙（FAX 用）またはネットギアのウェブサイトをご覧ください（<http://www.NETGEAR.jp/supportInfo/>）。

## 商標

NETGEAR、NETGEAR のロゴ、ReadyNAS、X-RAID、X-RAID2、Auto Uplink、NeoTV、FrontView、RAIDar、RAIDiator、Network Storage Processor、および NSP は NETGEAR, Inc. の商標および登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、および Vista は Microsoft 社の登録商標です。その他のブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。

## 免責事項

製品の内部設計、操作性や機能性、信頼性などを改善するため、NETGEAR は本書に説明された製品に予告なく変更を加えることがあります。

NETGEAR は、本製品の使用や適用、または製品の回路設計によって起こりうる一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI—B

# 目次

## 第 1 章 はじめに

追加ドキュメント.....	6
設置場所.....	6
システム要件.....	6
ディスクが同梱されていないモデル.....	7

## 第 2 章 ReadyNAS Duo

正面と側面.....	10
ドライブベイ.....	11
背面.....	13
ステータス情報.....	14
システムシャットダウン.....	14
ブートメニュー.....	15

## 第 3 章 ReadyNAS NV+

正面と側面.....	18
ドライブベイ.....	19
背面.....	21
ステータス情報.....	22
システムシャットダウン.....	22
ブートメニュー.....	23

## 第 4 章 ディスク

フォーマット済みのディスク.....	26
ディスクを追加する.....	27
故障ディスクの通知.....	28
ディスクを交換する.....	29

## 付録 A 初期設定と技術仕様

初期設定.....	32
Duo 技術仕様.....	33
NV+ 技術仕様.....	34
安全上の警告.....	35
電気に関する安全上の注意.....	35
一般的な安全上の注意事項.....	36
静電放電 (ESD) に関する注意事項.....	36

## 付録 B 適合性に関する情報

## 索引

# はじめに

---

# 1

NETGEAR ReadyNAS® ストレージシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この ReadyNAS ハードウェアマニュアルは ReadyNAS Duo、NV+ の各部名称や機能などを説明しています。

本章には以下の内容が含まれます。

- [追加ドキュメント](#)
- [設置場所](#)
- [システム要件](#)
- [ディスクが同梱されていないモデル](#)

## 追加ドキュメント

お買い上げの ReadyNAS Duo または NV+ ストレージシステムの構成、管理、使用方法に関する詳細は、*ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル* (<http://www.readynas.com/ja/documentation> にて入手可能) をご覧ください。

NETGEAR は ReadyNAS 製品をサポートするためのコミュニティ Web サイトを運営しています。レビュー、チュートリアル、比較チャート、ソフトウェアアップデート、ドキュメント、およびアクティブユーザーフォーラム、その他のコンテンツは、<http://readynas.com/ja/> にてご覧いただけます。

## 設置場所

コンパクトな ReadyNAS Duo、NV+ は、卓上や棚などにも設置いただけます。

設置場所を検討する際は、以下の点にご留意ください。

- ケーブル接続や配線がしやすい場所
- 本体に液体や湯気などがかからない場所
- 本体の通気性・排気性が妨げられない場所
- 平らな安定した場所に設置すること
- 周囲の温度が、NETGEAR 指定の動作温度を超えないこと
- 電源ケーブルをしっかりと接続できること

## システム要件

- イーサネット接続が可能なこと
- *Microsoft® Windows® 7*、*Vista™*、*XP*、*2000*、*Mac OS®*、*UNIX®*、*Linux®*
- *Microsoft® Internet Explorer® 7.0* 以上、*Apple® Safari® 2.0* 以上、*Mozilla Firefox® 2.0* 以上、*Opera® 9.5* 以上、*Google Chrome™ 10* 以上
- ハードディスクドライブ -- NETGEAR は、NETGEAR HDD コンパチビリティリストに記載された HDD のご使用を推奨します。ハードウェア互換性リスト ([http://www.readynas.com/ja/?page\\_id=82](http://www.readynas.com/ja/?page_id=82)) をご覧ください。

## ディスクが同梱されていないモデル

ハードディスクドライブがあらかじめインストールされていない ReadyNAS ストレージシステムをお買い上げの場合は、使い始める前に、以下の手順に従ってください。この手順は Duo で説明されていますが、同じステップが NV+ にも適用されます。

この手順は、ディスクを X-RAID® としてインストールします。Flex-RAID をご利用になる場合は、*ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル* をご覧ください。

▶ **初めてディスクが同梱されていないモデルをご利用になる際の準備：**

1. NETGEAR ハードウェア互換性リストに記載されたハードディスクを少なくとも 1 つご用意ください。

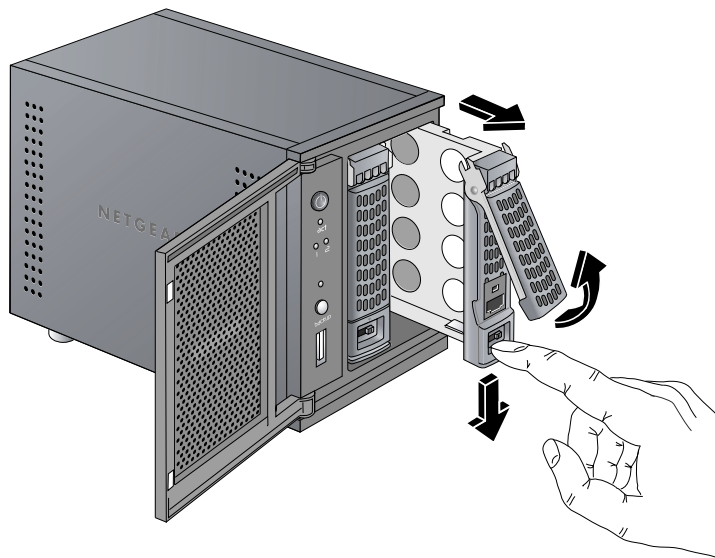
リストは [http://www.readynas.com/ja/?page\\_id=82](http://www.readynas.com/ja/?page_id=82) をご覧ください。

---

**注意：**すでにフォーマット済みのディスクをご利用になる場合、ディスクは再フォーマットされ、保存されていたデータはすべて消去されます。データを保存する必要がある場合は、ReadyNAS でご使用になる前に他の場所へコピーしてください。詳しくは 26 ページの **フォーマット済みのディスク** をご覧ください。

---

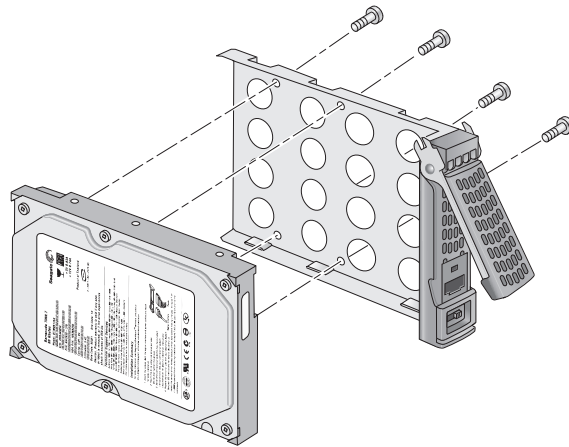
2. 本体の電源が切れた状態で、次のようにディスクをドライブベイに挿入します（お使いいただいているディスクトレイのデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります）。
  - a. ディスク取り出しボタンを押して、ディスクトレイを取り出します。



ディスクトレイのハンドルが開きます。

- b. ディスクトレイを取り出し、新しいディスクをトレイにセットし、トレイとディスクを本体付属のネジで組み立てます。

ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。



- c. ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してディスクを固定します。
3. フォーマットされていないディスクをご利用の場合は、本体の電源を入れてください。すでにフォーマット済みのディスクをご利用の場合は、工場出荷時の状態に戻す作業をしてください。
- a. ペーパーリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使い、リセットボタンを押し続けます。
- b. 電源ボタンを押して、本体の電源を入れます。
- c. 次のいずれかの操作を行います。
- ReadyNAS Duo をお持ちの場合、ディスク LED が 2 度点滅（1 度目は 5 秒後、2 度目は 25 秒後）したら、リセットボタンから手を離します。
  - ReadyNAS NV+ をお持ちの場合、ステータス画面に「Factory Default」と表示される（約 30 秒後）までリセットボタン長押しし、リセットボタンから手を離します。

工場出荷時の初期設定にリセットするには、30 分ほどかかります。初期設定では、ディスクをテストしてからフォーマットし、オペレーティングシステムをインストールした後、新しいボリュームを作成します。進捗状況はコンピュータにインストールした RAIDar ユーティリティで確認することができます。RAIDar については *ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル* を参照してください。

複数のディスクをインストールする場合、ReadyNAS システムは同期を行います。ディスクのサイズにより、このプロセスには数時間かかる場合があります。同期中でも設定を続け、ReadyNAS を使用することができます。

ReadyNAS システムの設定を完了するには、*ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル* の指示に従ってください。



この章では、ReadyNAS Duo の概要および機能を説明しています。

- *正面と側面*
- *ドライブベイ*
- *背面*
- *ステータス情報*
- *システムシャットダウン*
- *ブートメニュー*

## 正面と側面

下図は ReadyNAS Duo の正面と側面を示しています。

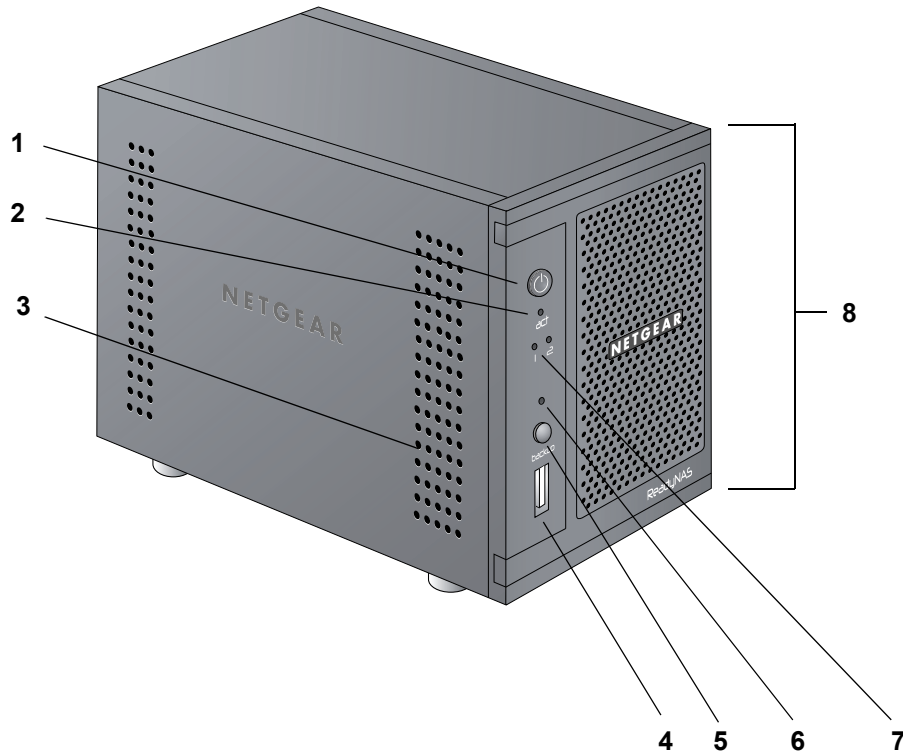


図 1 ReadyNAS Duo 正面と側面

1. 電源ボタンと LED
2. ディスクアクティビティ LED
3. 通気孔
4. USB 2.0 ポート
5. バックアップボタン
6. USB / バックアップステータス LED
7. ディスク LED
8. ドライブベイカバー

## ドライブベイ

下図は ReadyNAS Duo のドライブベイを示しています。お使いいただいているディスクトレイのデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります。

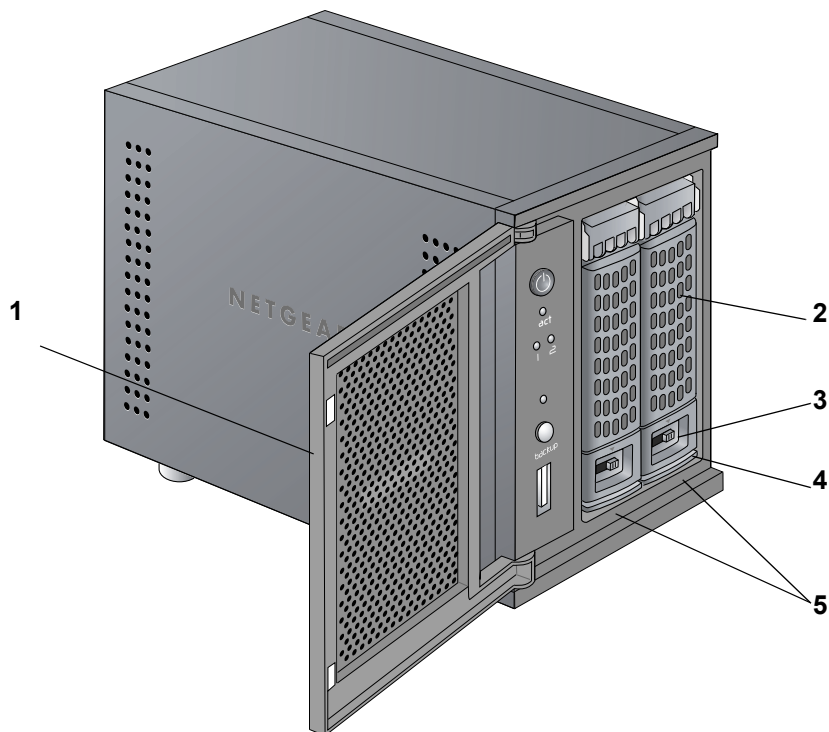


図 2 ReadyNAS Duo ドライブベイ

1. ドライブベイカバー
2. ディスクトレイハンドル
3. ディスクトレイロック機能
4. ディスク取り出しボタン
5. ドライブベイ（2基）

下図は ReadyNAS Duo ディスクトレイを示しています。

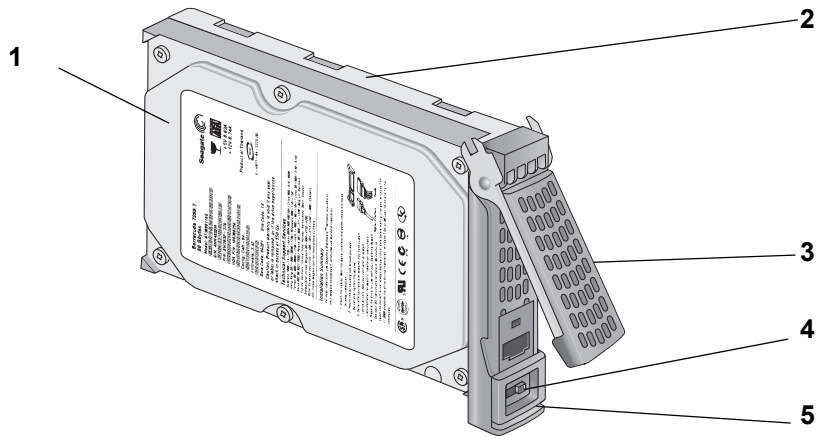


図 3 ReadyNAS Duo ディスクトレイ

1. ハードドライブ
2. ディスクトレイ
3. ディスクトレイハンドル
4. ディスクトレイロック機能
5. ディスク取り出しボタン

## 背面

下図は ReadyNAS Duo の背面を示しています。

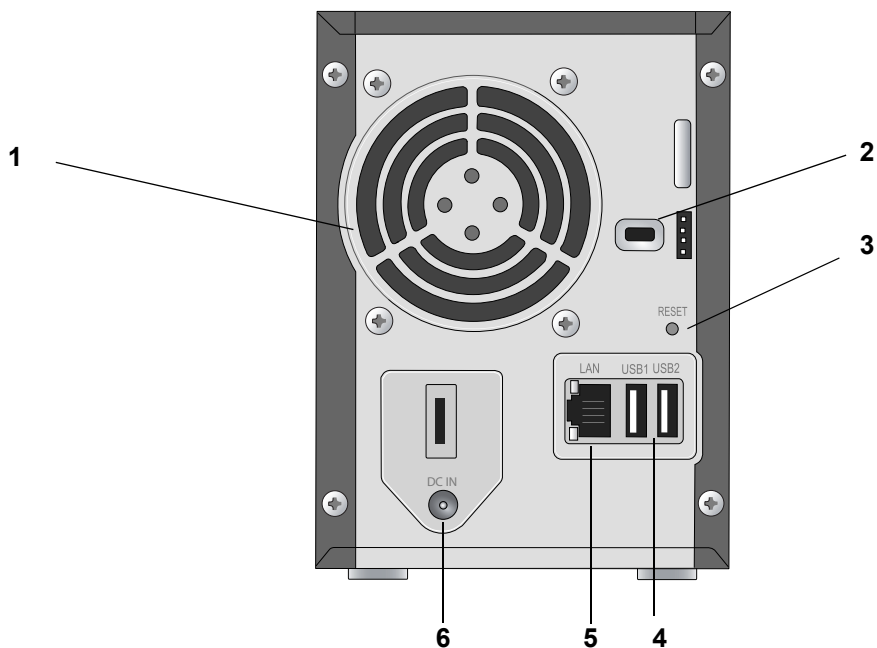


図 4 ReadyNAS Duo 背面

1. 換気ファン
2. Kensington ロック取り付け口
3. リセットボタン
4. USB 2.0 ポート
5. 1 ギガビットイーサネットポートと LED ステータスインジケータ
6. 電源アダプタ差込口

## ステータス情報

下表のインジケータからご利用中の ReadyNAS の状況を把握することができます。

インジケータ	説明
電源ボタンと LED	このボタンを押して ReadyNAS の電源を入れます。LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 点滅：起動中またはシャットダウン中</li> <li>• 点灯：電源オン</li> <li>• 消灯：電源オフ</li> </ul>
ディスク LED (1、2)	各ディスクベイにはそれぞれの状態を示す LED が正面に搭載されています。ディスク LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 点灯：電源はオンで、ディスクは正常に動作しています。</li> <li>• 点滅：ディスクは削除されたか、エラーが発生したか、または再同期しています。</li> <li>• 消灯：ディスクベイは空です。</li> </ul>
ディスクアクティビティ LED	ディスクアクティビティ LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 点滅：ディスクにアクセス中です。</li> <li>• 消灯：ディスクにアクセスしていません。</li> </ul>
イーサネットポート LED	このポートには緑と黄色の 2 つの LED ステータスインジケータが搭載されています。それぞれが LAN ポートの速度とアクティビティを次のように示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑点灯／黄色消灯：1000 Mbps の接続速度</li> <li>• 緑点滅／黄色消灯：1000 Mbps の接続速度、通信中</li> <li>• 緑消灯／黄色点灯：10 Mbps または 100 Mbps の接続速度</li> <li>• 緑消灯／黄色点滅：10 Mbps または 100 Mbps の接続速度、通信中</li> <li>• 緑消灯／黄色消灯：接続なし</li> </ul>

## システムシャットダウン

ReadyNAS をシャットダウンするには 3 通りの方法があります。

- ReadyNAS を正常にシャットダウンするには、電源ボタンの LED が点滅するまで【電源】ボタンを押し続けます（約 5 秒）。
- 反応が無くなった ReadyNAS を強制的にシャットダウンするには、プラグを抜いてください。
- コンピュータから ReadyNAS をシャットダウンするには、FrontView を使用します（推奨）。詳しくは、ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル (<http://www.readynas.com/ja/documentation>) をご覧ください。

## ブートメニュー

ブートメニューを使い、ReadyNAS システムを再起動したり、またはトラブルの解決を試みることができます。ReadyNAS Duo には以下のブートモードがあります。

- **Factory Default:** ディスクテストの後、ReadyNAS を工場出荷時の初期設定にリセットします。RAID モード (X-RAID または Flex-RAID) を切り替えたり、RAID レベルを変更する際にも使用します。この作業を行うと、データは全て失われます。Factory Default を選択すると、最初に約 5 分間ディスクテストが行われた後、RAIDar に設定ボタンをクリックするよう表示されます。RAID モードを切り替える場合は、10 分間のうちに対象の機種を選択して [設定] をクリックし、RAID モードを選択します。工場出荷時の初期設定に戻す場合は、[設定] をクリックせずにそのまま 10 分間待ちます。約 10 分間経過すると、工場出荷時の状態へ戻す作業が始まります。この場合は、ディスクは前に使用されていたものと同じフォーマットになります。(X-RAID および Flex-RAID についての詳細は、*ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル*をご覧ください。)
- **OS reinstall:** ReadyNAS 内蔵のフラッシュメモリからハードディスクへファームウェアの再インストールを行います。ReadyNAS がクラッシュしたり、構成ファイルが破損した場合は、OS reinstall のブートモードを使用してください。このブートモードを実行すると、インターネットプロトコル設定や管理者パスワードなど、一部の設定が初期設定に戻ります。
- **Tech support:** 低レベルの診断モードで起動します。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合のみご利用ください。
- **Skip vol check:** ファイルシステムのチェックを省略します。ReadyNAS がクラッシュした後は、ファイルシステムチェックがボリュームのスキャンを行い、修復を試みます。ディスクに複数の問題が発生した場合、このプロセスは停止してしまう可能性があり、ReadyNAS が起動できなくなります。その場合は、このオプションを使ってスキャンをスキップし、ReadyNAS を起動させてください。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。指示なく実行すると、データを失う可能性があります。
- **Memory test:** メモリテストを実行します。本体の LED にテスト結果が表示されます。メモリテストの結果の解釈については、NETGEAR テクニカルサポートにお問い合わせください。
- **Disk test:** オフラインのフルディスクテストを実行します。このテストには、ディスクサイズによって 4 時間以上かかる場合があります。このテストの結果をご覧になるには、RAIDar 検出ツールを使用します。
- **TFTP conf:** ReadyNAS 上のファームウェアを他のコンピューターのイメージから実行します。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。
- **USB boot:** ReadyNAS 上のファームウェアを、ReadyNAS に接続された USB フラッシュドライブのイメージから実行します。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。

➤ **OS reinstall または Factory Default を実行 :**

1. 本体の電源を切ります。
2. ペーパークリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使い、リセットボタンを長押しします。
3. 電源ボタンを押して、ReadyNAS の電源を入れます。
4. OS の再インストールを行うには、両方のディスク LED が 1 度点滅するまで約 5 秒間、リセットボタンを長押しし、手を離します。

工場出荷時の初期設定にリセットするには、両方のディスク LED が 2 度点滅 (1 度目は 5 秒後、2 度目は 25 秒後) するまでリセットボタンを長押しし、手を離します。

➤ **skip vol check、Tech support、Memory test、TFTP conf、USB boot を実行 :**

1. ReadyNAS の電源を切ります。
2. 両方のディスク LED が下記の回数点滅するまで電源ボタンを長押しし、手を離します。

ブートメニューモード	選択する動作
Skip vol check	電源ボタンを押し、5 秒間長押しします。両方のディスク LED が 1 度点滅したら手を離します。
TFTP conf	電源ボタンを押し、10 秒間長押しします。両方のディスク LED が 2 度点滅したら手を離します。
Tech support	電源ボタンを押し、15 秒間長押しします。両方のディスク LED が 3 度点滅したら手を離します。
USB boot	電源ボタンを押し、20 秒間長押しします。両方のディスク LED が 4 度点滅したら手を離します。
Memory test	電源ボタンを押し、25 秒間長押しします。両方のディスク LED が 5 度点滅したら手を離します。

たとえば、Skip vol check を実行するには、両方のディスク LED が 5 秒後に 1 度点滅するまで電源ボタンを長押しします。TFTP ブートを実行するには、5 秒後とさらに 5 秒後の 2 回、両方のディスク LED が点滅するまで電源ボタンを長押しします。



この章では、ReadyNAS NV+ の概要および機能を説明しています。

- *正面と側面*
- *ドライブベイ*
- *背面*
- *ステータス情報*
- *システムシャットダウン*
- *ブートメニュー*

## 正面と側面

下図は ReadyNAS NV+ の正面と側面を示しています。ReadyNAS 本体のデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります。

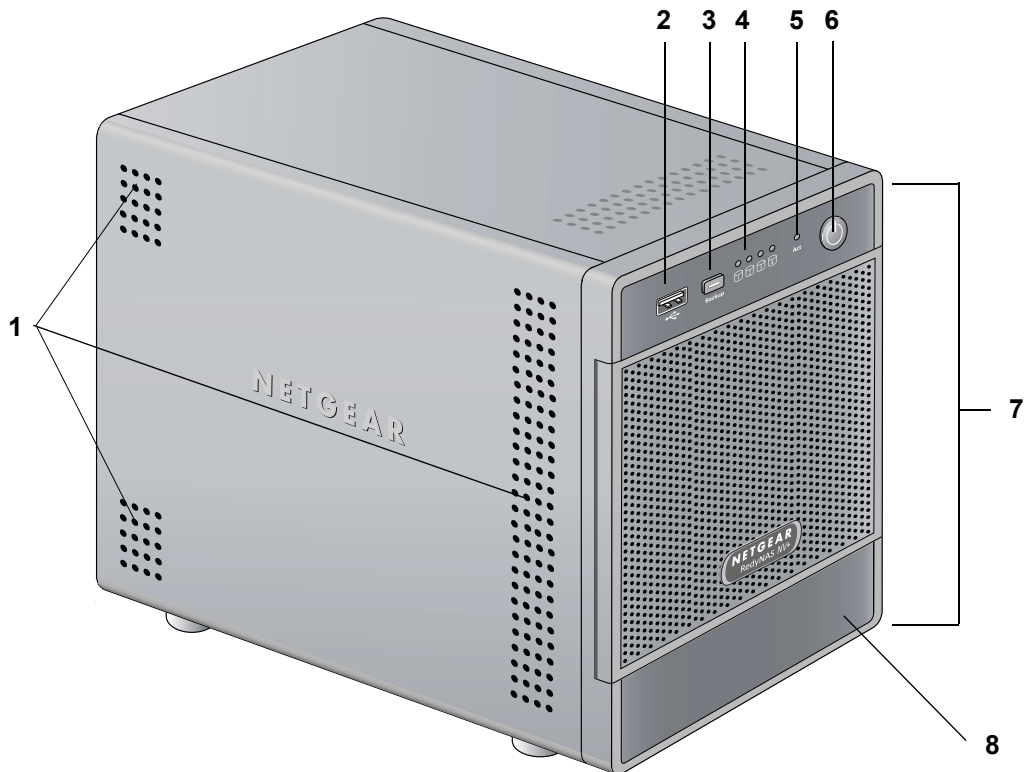


図 5 ReadyNAS NV+ 正面と側面

1. 通気孔
2. USB 2.0 ポート
3. バックアップボタンとバックアップ LED
4. ディスク LED
5. ディスクアクティビティ LED
6. 電源ボタンと LED
7. ドライブベイカバー
8. ステータス・ディスプレイ

## ドライブベイ

下図は ReadyNAS NV+ のドライブベイを示しています。ReadyNAS 本体のデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります。

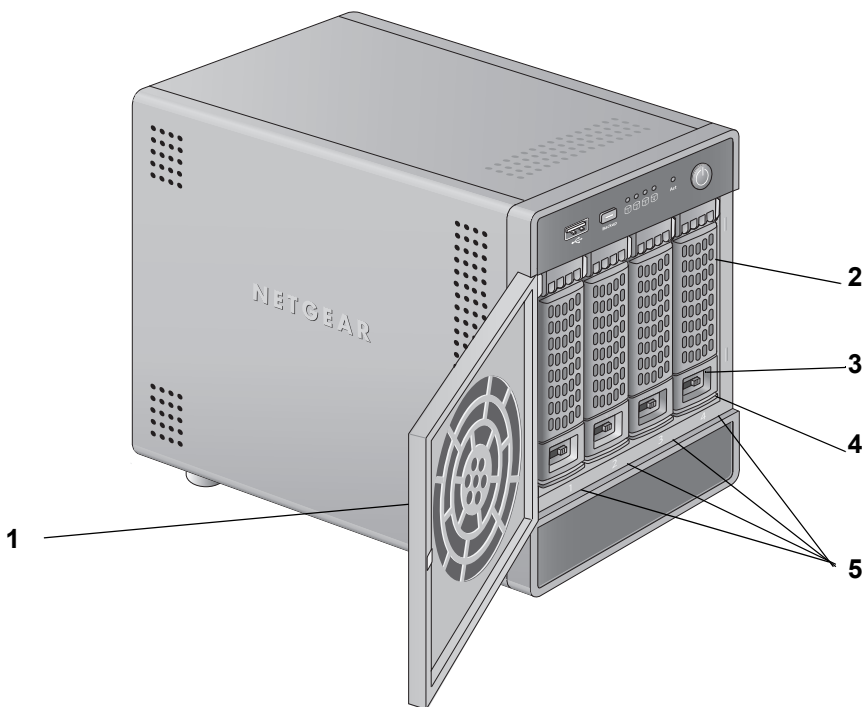


図 6 ReadyNAS NV+ ドライブベイ

1. ドライブベイカバー
2. ディスクトレイハンドル
3. ディスクトレイロック機能
4. ディスク取り出しボタン
5. ドライブベイ（4基）

下図は ReadyNAS NV+ ディスクトレイを示しています。

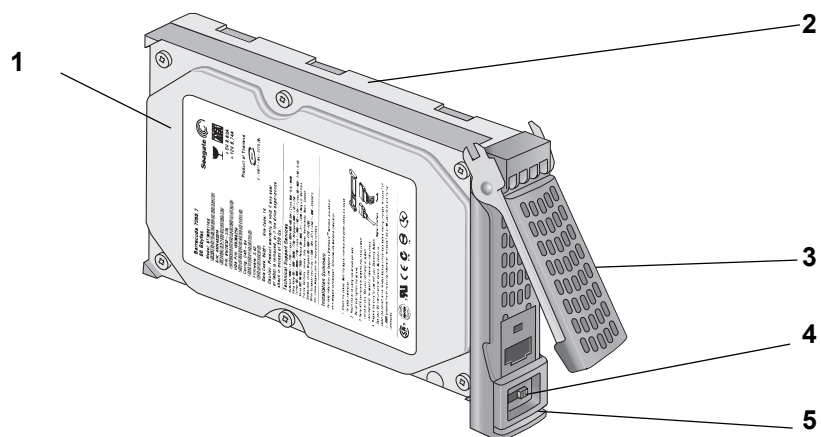


図 7 ReadyNAS NV+ ディスクトレイ

1. ハードドライブ
2. ディスクトレイ
3. ディスクトレイハンドル
4. ディスクトレイロック機能
5. ディスク取り出しボタン

## 背面

下図は ReadyNAS NV+ の背面を示しています。

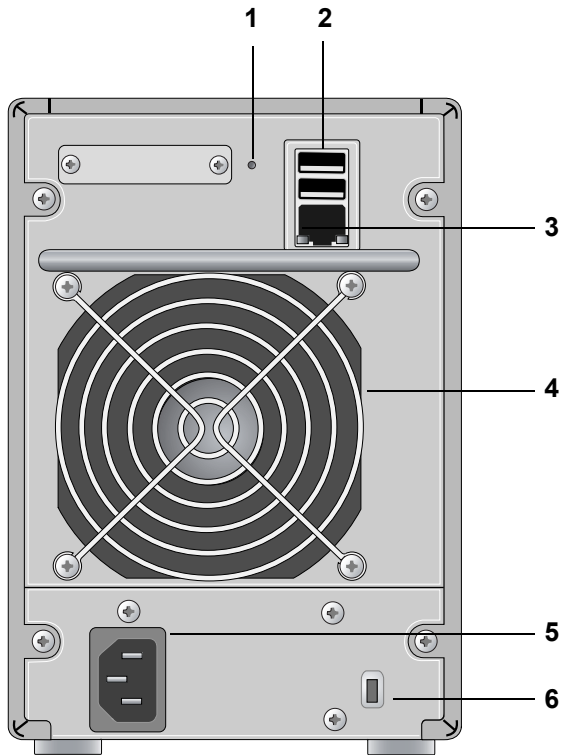


図 8 ReadyNAS NV+ 背面

1. リセットボタン
2. USB 2.0 ポート
3. 1 ギガビットイーサネットポートと LED ステータスインジケータ
4. 排気ファン
5. 電源ケーブル差込口
6. Kensington ロック

## ステータス情報

下表のインジケータからご利用中の ReadyNAS の状況を把握することができます。

インジケータ	説明
電源ボタンと LED	このボタンを押して、ReadyNAS システムの電源を入れます。LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>点滅：起動中またはシャットダウン中</li> <li>点灯：電源オン</li> <li>消灯：電源オフ</li> </ul>
ディスク LED (1、2、3、4)	各ディスクベイにはそれぞれの状態を示す LED が正面に搭載されています。ディスク LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>点灯：電源はオンで、ディスクは正常に動作しています。</li> <li>点滅：ディスクが取り出されたか、エラーが発生したか、再同期中です。</li> <li>消灯：ディスクが存在しません。</li> </ul>
ディスクアクティビティ LED	ディスクアクティビティ LED には次のステータスがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>点滅：ディスクにアクセス中です。</li> <li>消灯：ディスクにアクセスしていません。</li> </ul>
背面のイーサネットポート LED	このポートには緑と黄色の 2 つの LED ステータスインジケータが搭載されています。それぞれがポートの接続速度とポートアクティビティを次のように示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑点灯／黄色消灯：1000 Mbps の接続速度</li> <li>緑点滅／黄色消灯：1000 Mbps の接続速度、通信中</li> <li>緑消灯／黄色点灯：10 Mbps または 100 Mbps の接続速度</li> <li>緑消灯／黄色点滅：10 Mbps または 100 Mbps の接続速度、通信中</li> <li>緑消灯／黄色消灯：接続なし</li> </ul>

## システムシャットダウン

ReadyNAS をシャットダウンするには 3 通りの方法があります。

- ReadyNAS を正常にシャットダウンするには、電源ボタンの LED が点滅するまで電源ボタンを長押しし、ステータス・ディスプレイに "Shutting down" と表示されるまで待つてから手を離します (約 5 秒)。
- 反応がない場合に ReadyNAS を強制的にシャットダウンするには、プラグを抜いてください。
- コンピュータから ReadyNAS をシャットダウンするには、FrontView を使用します。詳しくは、ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル (<http://www.readynas.com/ja/documentation>) をご覧ください。

## ブートメニュー

ブートメニューを使い、ReadyNAS システムを再起動したり、またはトラブルの解決を試みることができます。ReadyNAS NV+ には以下のブートモードがあります。

- Factory Default:** 短いディスクテストの後、ReadyNAS を工場出荷時の初期設定にリセットします。RAID モード (X-RAID または Flex-RAID) を切り替えたり、RAID レベルを変更する際にも使用します。この作業を行うと、データは全て失われます。Factory Default を選択すると、最初に約 5 分間ディスクテストが行われた後、RAIDar に設定ボタンをクリックするよう表示されます。RAID モードを切り替える場合は、10 分間のうちに対象の機種を選択して [設定] をクリックし、RAID モードを選択します。工場出荷時の初期設定に戻す場合は、[設定] をクリックせずにそのまま 10 分間待ちます。約 10 分間経過すると、工場出荷時の状態へ戻す作業が始まります。この場合は、ディスクは前に使用されていたものと同じフォーマットになります。(X-RAID および Flex-RAID についての詳細は、*ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアル*をご覧ください。)
- OS reinstall:** ReadyNAS 内蔵のフラッシュメモリからハードディスクへファームウェアの再インストールを行います。ReadyNAS がクラッシュしたり、構成ファイルが破損した場合は、OS 再インストールのブートモードを使用してください。OS 再インストールのブートモードを実行すると、インターネットプロトコル設定や管理者パスワードなど、一部の設定が初期設定に戻ります。
- Tech support:** 低レベルの診断モードで起動します。テクニカルサポートのブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合のみご利用ください。
- Skip vol check:** ファイルシステムのチェックを省略します。ReadyNAS がクラッシュした後は、ファイルシステムチェックがボリュームのスキャンを行い、修復を試みます。ディスクに複数の問題が発生した場合、このプロセスは停止してしまう可能性があり、ReadyNAS が起動できなくなります。その場合は、このオプションを使ってスキャンをスキップし、ReadyNAS を起動させてください。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。指示なく実行すると、データを失う可能性があります。
- Memory test:** メモリテストを実行します。本体の LED にテスト結果が表示されます。メモリテストの結果の解釈については、NETGEAR テクニカルサポートにお問い合わせください。
- Disk test:** オフラインのフルディスクテストを実行します。このテストには、ディスクサイズによって 4 時間以上かかる場合があります。このテストの結果をご覧になるには、RAIDar 検出ツールを使用します。
- TFTP conf:** ReadyNAS 上のファームウェアを他のコンピューターのイメージから実行します。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。
- USB boot:** ReadyNAS 上のファームウェアを、ReadyNAS に接続された USB フラッシュドライブのイメージから実行します。このブートモードは、NETGEAR テクニカルサポートの担当者から指示を受けた場合にのみご利用ください。

➤ **OS reinstall または Factory Default を実行 :**

1. 本体の電源を切ります。
2. ペーパークリップをまっすぐに伸ばしたものなどを使い、リセットボタンを長押しします。
3. そのままリセットボタンを押しながら、電源ボタンを押します。
4. 正しいブートモードの名前がステータス・ディスプレイに表示されたら、リセットボタンを離します。

ステータス・ディスプレイに「OS reinstall」という文字が 5 秒以内に表示されます。「Factory Default」という文字が 25 秒後に表示されます。

➤ **skip vol check、Tech support、Memory test、TFTP conf、USB boot を実行 :**

1. 本体の電源を切ります。
2. 電源ボタンを長押しします。
3. 正しいブートモードの名前がステータス・ディスプレイに表示されたら、電源ボタンを離します。

名前は 5 秒ごとに切り替わります。名前は、"Skip vol check" > "TFTP conf" > "Tech support" > "USB boot" > "Memory test" の順に切り替わります。



ReadyNAS ストレージシステムでは対応のディスクのみをお使いください。未対応のディスクをご使用になると、NETGEAR テクニカルサポートを受けることができません。対応ディスクの一覧については、NETGEAR ハードウェア互換性リスト ([http://www.readynas.com/ja/?page\\_id=82](http://www.readynas.com/ja/?page_id=82)) をご覧ください。

ReadyNAS ストレージシステムのディスクを構成する方法については、ReadyNAS RAIDiator 4.1 ソフトウェアマニュアルWeb サイト (<http://www.readynas.com/ja/documentation>) をご覧ください。

この章には次の内容が含まれます。

- [フォーマット済みのディスク](#)
- [ディスクを追加する](#)
- [故障ディスクの通知](#)
- [ディスクを交換する](#)

## フォーマット済みのディスク

ReadyNAS システムでフォーマット済みのディスクを使用する場合は、下表のとおり  
の注意が必要です。

表 1. フォーマット済みのディスクに関するご注意

システムステータス	ご注意
ReadyNAS 本体にディスクがない場合 (ディスクレス)	<p>本体の電源を切り、7 ページの <i>ディスクが同梱されていないモデル</i> の説明にあるようにディスクを挿入します。次に、15 ページの <i>ブートメニュー</i> の説明にあるように初期設定にリセットを行います。</p> <p><b>注意:</b> このプロセスではすべてのデータが消去され、フォーマット済みのディスクを X-RAID に再フォーマットします。ディスク内のデータを維持したい場合は、データをバックアップする必要があります。</p>
ReadyNAS 本体が 1 台以上のディスクで運用中	<p>本体の稼働中に、27 ページの <i>ディスクを追加する</i> の説明にあるように、ディスクを空のベイに挿入します。このディスクを自動的に既存ディスクと同じ形式でフォーマットします。</p> <p><b>注意:</b> この操作は、フォーマット済みのディスク内のデータをすべて消去します。ディスク内のデータを維持したい場合は、データをバックアップする必要があります。</p>

NETGEAR のテクニカルサポートを受けるには、NETGEAR ハードウェア互換性リストに記載のあるディスクを使用する必要があります。このリストは、Web サイト ([http://www.readynas.com/ja/?page\\_id=82](http://www.readynas.com/ja/?page_id=82)) にてご確認いただけます。

## ディスクを追加する

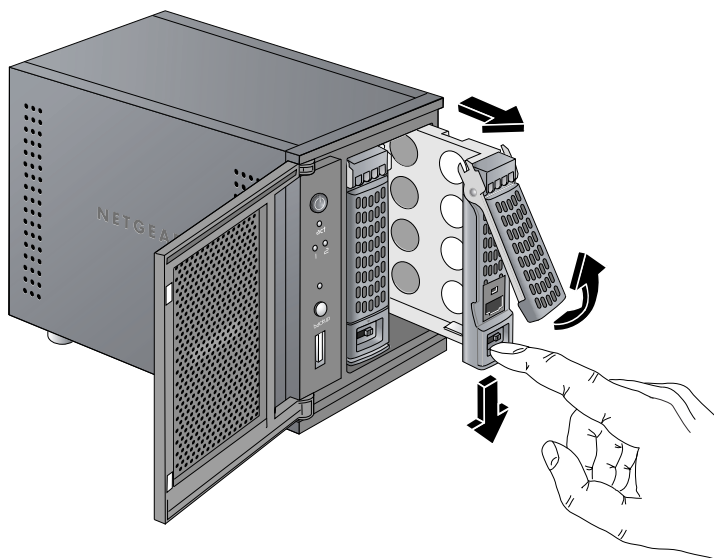
空のディスクベイにハードディスクを追加することができます。ディスクを追加する際に本体の電源を切る必要はありません。

事前にフォーマットされたディスクを ReadyNAS に追加する場合、26 ページの [フォーマット済みのディスク](#) の注意事項をご覧ください。

ReadyNAS 本体のデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります。

### ▶ ディスクを追加する：

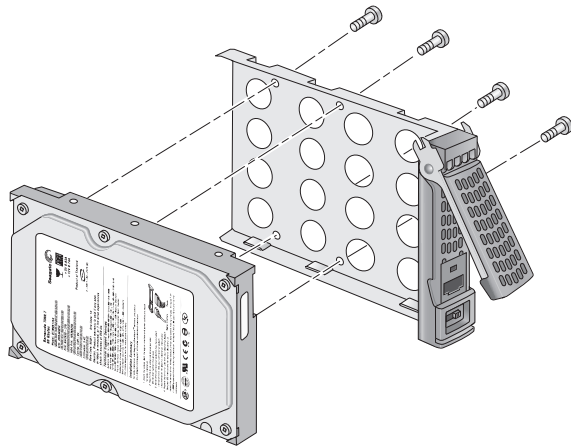
1. ディスク取り出しボタンを押します。



ディスクトレイハンドルが飛び出します。

2. ディスクトレイを取り出し、新しいディスクをトレイにセットし、トレイとディスクを本体付属のネジで組み立てます。

ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。



3. ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してディスクを固定します。

新しいディスクのボリュームへの同期はバックグラウンドで自動的に行われます。ディスクのサイズにより、このプロセスには数時間かかる場合があります。この間、引き続き ReadyNAS を使用することはできますが、ボリュームの同期が完了するまでは動作が遅くなります。プロセスが完了すると、メール通知が送信されます。

ディスクのないシステムにディスクを追加する場合は、*ReadyNAS RAIDiator 4.1* ソフトウェアマニュアルをご覧ください。

## 故障ディスクの通知

ReadyNAS 上のディスクが故障すると、メールで通知されます。FrontView は、故障ディスクに関する情報を表示します。

FrontView を使い、ご利用の機種種のハードディスクメーカーとモデルをご確認ください。

FrontView を使ったメールアラートの設定と、ReadyNAS での FrontView の使い方については、ReadyNAS ソフトウェアマニュアルをご覧ください。



### 警告！

ご使用になるハードディスクの台数に限らず、十分な通気を確保するためにすべてのドライブトレイをドライブベイに装着してください。

## ディスクを交換する

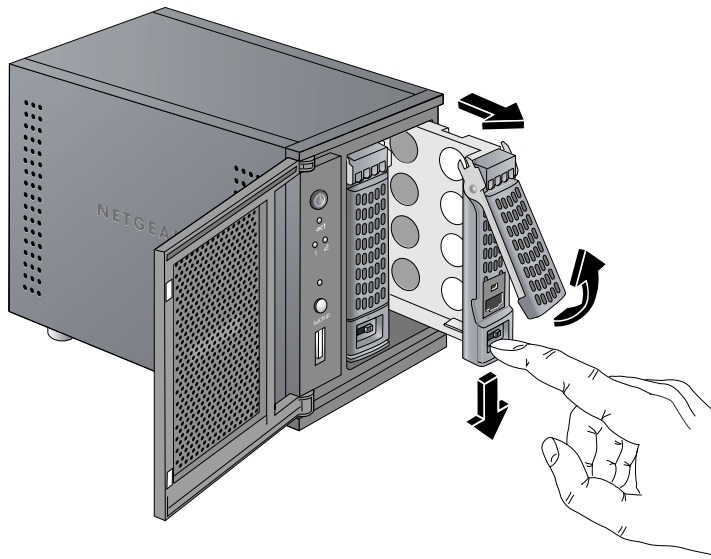
ディスクが故障した場合、ディスク交換を促すメールアラートとステータスメッセージが送られます。ご利用のシステムはホットスワップベイに対応しているため、ディスク交換の際に本体の電源を切る必要はありません。

あらかじめフォーマットされたディスクと交換する場合は、26 ページの [フォーマット済みのディスク](#) の注意事項をお読みください。

ReadyNAS 本体のデザインは、本マニュアル記載の図とは異なる場合があります。

### ➤ 故障したディスクを交換する

1. ディスク取り出しボタンを押します。



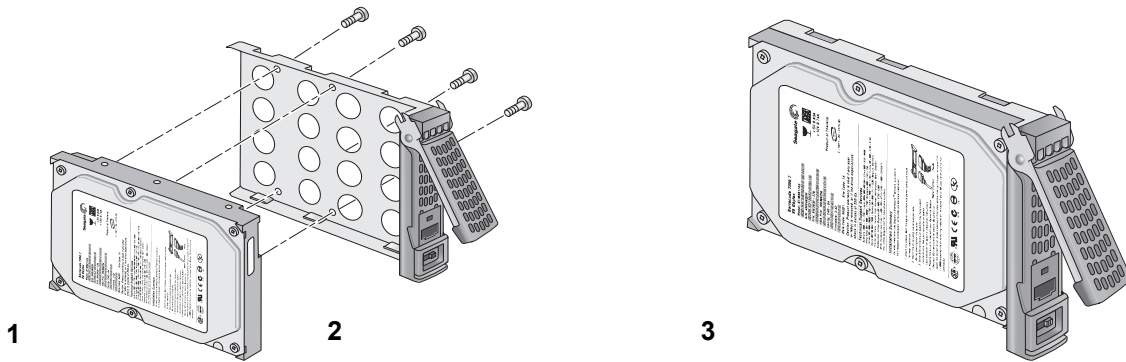
ディスクトレイハンドルが飛び出します。



### 警告！

誤って違うディスクを取り外してしまった場合は、他のディスクが同期中でないときは、すぐにディスクを再挿入し、ReadyNAS システムがこれをフォーマットして同期するまでお待ちください。同期が完了したら、正しいディスクを取り外してください。他のディスクが同期している最中に、誤って間違ったディスクを取り外してしまった場合は、NETGEAR のテクニカルサポートにご連絡ください。誤って取り出したディスクが故障していなければ、データを復元できる可能性があります。

2. ディスクトレイを取り出し、故障したディスクを交換します。



1. ハードドライブ
2. 空のディスクトレイ
3. 組み立て終えたディスクトレイ

ハードディスクのコネクタ部分がトレイハンドルの反対側を向くようにセットしてください。

3. ディスクトレイを本体に挿し込み、ハンドルを押してディスクを固定します。

新しいディスクのボリュームへの同期はバックグラウンドで行われます。ディスクのサイズにより、このプロセスには数時間かかる場合があります。この間、引き続きReadyNASを使用することはできますが、ボリュームの同期が完了するまでは動作が遅くなります。プロセスが完了すると、メール通知が送信されます。

# 初期設定と技術仕様

---



この付録には次の内容が含まれます。

- *初期設定*
- *Duo 技術仕様*
- *NV+ 技術仕様*
- *安全上の警告*

## 初期設定

下表は ReadyNAS Duo および NV+ の工場出荷時の初期設定です。

機能	既定値
ログイン	
ReadyNAS が DHCP サーバに接続されていない場合のユーザログイン URL	https://192.168.168.168/admin
管理者名 (大文字と小文字を区別)	admin
管理者ログインパスワード (大文字と小文字を区別)	netgear1
管理	
システム構成	FrontView (ウェブ管理画面)
ReadyNAS の検出	RAIDar (Windows、Macintosh、Linux 用)
ネットワーク	
MAC アドレス	本体のラベルを参照
MTU サイズ	1500 バイト
LAN ポート	RJ-45 - 10/100/1000BASE-T、Auto Negotiation 対応
IP アドレス	DHCP サーバから取得



## Duo 技術仕様

ReadyNAS Duo ストレージシステムは、以下の技術仕様に適合しています。

### 一般：

- 2 ベイストレージ
- SPARC シングルコアプロセッサ
- 256 MB PC2700 DDR-SDRAM SO-DIMM
- ギガビットイーサネットポート（1 基）
- USB 2.0 ポート（前面 1 基、背面 2 基）

### サイズ (H x W x D):

- 142 x 101 x 222 mm
- 5.56 x 3.98 x 8.70 インチ

### 重量：

- 2.07 kg / 4.56 lb( ディスク未搭載時 )

### 消費電力：

- 35W 500GB HDD 2 台搭載時
- 27W (アイドル時)

### 電源：

- 入力：DC 12.0V, 5A

### 温度制御：

- ソフトウェア制御 60 mm 冷却ファン
- 高温時のメール警告と自動シャットダウン

### 使用環境：

- 温度：0° ~ 35°C
- 湿度：20% ~ 80% (結露なし)
- 安全性：FCC、UL、CE、C-tick、IC、RoHS 対応

## NV+ 技術仕様

ReadyNAS NV+ ストレージシステムは、以下の技術仕様に適合しています。

### 一般：

- 4 ベイストレージ
- SPARC シングルコアプロセッサ
- 256 MB PC2700 DDR-SDRAM SO-DIMM
- ギガビットイーサネットポート（1基）
- USB 2.0 ポート（前面1基、背面2基）

### サイズ (H x W x D):

- 200 x 132 x 222 mm
- 7.9 x 5.2 x 8.7 インチ

### 重量：

- 4.6 kg / 10 lb( ディスク未搭載時 )

### 消費電力：

- 54W 500GB HDD 4 台搭載時
- 37W (アイドル時)

### 電源：

- 入力：DC 12.0V, 5A

### 温度制御：

- ソフトウェア制御 92 mm 冷却ファン
- 高温時のメール警告と自動シャットダウン

### 使用環境：

- 温度：0° ~ 40°C
- 湿度：20% ~ 80% (結露なし)
- 安全性：FCC、UL、CE、C-tick、IC、RoHS 対応

## 安全上の警告

1. 本機はコンセントの近く、付属の電源ケーブルをつなぎやすい場所に設置してください。
2. 内蔵電池に関する注意書きをお読みください。



### 危険：

内蔵電池を異なる種類のものとの交換すると、爆発の恐れがあります。使用済み電池は指示に従って廃棄してください。

3. 本機は、同じ建物内のネットワーク機器と LAN 接続してください。

## 電気に関する安全上の注意

電気に関する基本的な安全上の注意事項に従い、怪我や ReadyNAS の破損がないようご注意ください。

- 本体の電源ボタンの位置や、建物のブレーカーコンセントの場所などを確認しておいてください。事前に場所を確認することで、電気事故が起きた場合にすぐに本体電源を落とすことができます。
- メインシステム部品（マザーボードやメモリなど）を取り外したり、取り付けたりする際は、必ず本体電源を切ってください。電源を切る際は、まずシャットダウンしてから、電気コードを抜いてください。
- 電源の入った電気装置を扱う際は、必ず片手で作業してください。これは、電気回路を閉じてしまい、感電の原因となることを防ぐためです。金属の工具を使用する際は十分に注意してください。接触すると、電気部品や回路基板を破損する恐れがあります。
- 静電気の放出を減少させて感電を防ぐためのマットは使用しないでください。代わりに、電気絶縁体として設計されたゴムマットを使用してください。
- 接地プラグの着いた電源コードのみを使用し、必ず電源を接地コンセントに差し込んでください。

## 一般的な安全上の注意事項

一般的な安全上の注意事項に従ってお使いください。

- ReadyNAS の周辺はきれいに片付けてください。
- 特定の ReadyNAS 製品についての詳細は、本マニュアルの技術仕様をご覧ください。
- 内蔵電池を交換する場合は、必ず全く同じもの、またはメーカー推奨の同じタイプのものご利用ください。使用済み電池は、メーカーの指示に従って廃棄してください。



**危険：**

電池をプラスマイナス逆にしてセットすると、爆発の恐れがあります。

- メインボード上のはんだ付けヒューズ：メインボード上の自己復旧型 PTC (正温度係数) ヒューズの交換作業は経験を積んだ技術者のみ行うことができます。必ず同じ、または同等の新しいヒューズと交換してください。詳細およびサポートについては、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 静電放電 (ESD) に関する注意事項

静電放電 (ESD) は、電荷の異なる 2 つの物体がお互いに接触した時に発生します。静電気は、この 2 つの差異を中和させようとして発生し、電気部品や電気回路を破損する可能性があります。お使いの装置を静電気から守るため、次のような点にご注意して作業を行ってください。



- 静電気防止用の接地されたリストストラップを使用してください。
- すべての部品およびプリント基板は (PCB) は、使用するまで静電気防止バッグに入れて保管してください。
- ボードを静電気防止バッグから取り出す前に、接地された金属部品などに触れてください。
- 部品や PCB が服などに触れないようご注意ください。リストストラップを着用している場合でも帯電する可能性があります。
- ボードは必ず端をお持ちください。部品、周辺のチップ、メモリモジュール、端子などには触れないでください。
- チップやモジュールを取り扱う際は、ピンに触れないようご注意ください。
- メインボードや周辺機器は、使用しない時は静電気防止バッグに戻してください。
- 接地のために、お使いのコンピュータシャーシと電源、ケース、取り付け用の留め具、メインボードとの間に良好な伝導性が保たれていることを確認してください。

# 適合性に関する情報

---

# B

## 各種規定との適合に関する情報

このセクションでは、電波スペクトルの使用および無線装置の操作方法に関する国内の規定に基づき本機を操作するための条件を記載しています。適合法に準拠できない場合、ユーザは行政当局により定められた規定に対し、非合法的な操作や行動を招く結果となります。

本製品のファームウェアは、特定の地域や国家で許可されたチャンネルでのみ操作可能となっています。このため、本ユーザガイドに記載されている一部の説明は、ご利用の製品バージョンに適合されない場合もあります。

## 米国における FCC 要件

### ユーザへの FCC 情報

本機にはユーザ自らが修理できる部品は含まれておらず、承認されたアンテナのみご利用になれます。本機に何らかの変更や修正を加えた場合、関連法に基づく認証や承認は無効となります。

本機は FCC 規定第 15 項に準拠しています。本機の操作は次の対象となります。(1) 本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) 本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のあるものを含め、すべての干渉を受信しなければなりません。

### 人体暴露に関する FCC ガイドライン

本機は、規制のない環境下に対し設定された FCC 放射線暴露制限を満たしています。本機は放熱体や人体から 20cm 以上離れた場所に設置してください。

本機は他のアンテナや転送装置と一緒に設置したり、操作したりしないでください。

### FCC 適合宣言

我々 NETGEAR (350 East Plumeria Drive, Santa Clara, CA 95134) は、弊社の義務として NETGEAR ReadyNAS Duo v2 および NV+ v2 が FCC 規定第 15 項に準拠することを証明します。

本機の操作は次の対象となります。

- 本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。
- 本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のあるものを含め、すべての干渉を受信しなければなりません。

#### **FCC ラジオ周波数干渉警告および指示**

本機は FCC 規定第 15 章の Class B デジタル装置としてテスト済みです。これらの規制は、住宅地区における使用に際し、有害な干渉を防ぐために設定されています。本機は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。指示どおりインストールまたは使用されない場合、無線通信に対し有害な干渉を招く可能性があります。ただし、特定のインストールを行うことで干渉防止を保証するものではありません。

本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を招いており、本機の電源をオン / オフにすることでその干渉が確実な場合は、以下のいずれかの方法で干渉を回避してください。

- 受信アンテナの方向を変える、または設置しなおす。
- 本機とテレビ受信機との間隔を離す。
- 本機をテレビ受信機とは別のコンセントに差し込む。
- ラジオまたはテレビの販売店または技師に相談する。

本機に対し NETGEAR が承認していない変更などを加えた場合、ユーザの本装置使用権限が無効になる場合があります。

#### **カナダ通信省の無線障害規制**

このデジタル装置 (NETGEAR ReadyNAS Duo および NV+ は、カナダ通信省 (Canadian Department of Communications) の無線障害規制 (Radio Interference Regulations) に規定された、デジタル装置から放出される電波雑音のクラス B 規制に適合しています。

#### **欧州連合**

ReadyNAS Duo および NV+ は EU EMC 指令 2004/108/EC および低電圧指令 2006/95/EC の基本条件を満たしており、以下の試験方法および標準に申請し、準拠しています。

- EN55022:2006 / A1:2007
- EN55024:1998 / A1:2001 / A2:2003
- EN60950-1:2005 2nd Edition
- EN 61000-3-2:2006
- EN 61000-3-3:1995 w/A1:2001+A2:2005

#### **日本**

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

# 索引

## C

compliance **37**

## F

FCC **37**

## L

LED

Duo **14**

NV+ **22**

## あ

安全 **35, 36**

## い

一般的な安全 **36**

## き

技術仕様

Duo **33**

NV+ **34**

## け

警告, 安全 **35**

## こ

故障したディスク **28**

コンセント **35**

## さ

サポート **2**

## し

システムシャットダウン

Duo **14**

NV+ **22**

システムステータス

Duo **14**

NV+ **22**

システム要件 **6**

シャットダウン

Duo **14**

NV+ **22**

商標 **2**

正面

Duo **10**

NV+ **18**

初期設定 **32**

## す

ステータス, システム

Duo **14**

NV+ **22**

ステータス情報

Duo **14**

NV+ **22**

## せ

静電気 **36**

設置場所 **6**

## そ

側面

Duo **10**

NV+ **18**

## た

対応ディスク **25**

## て

### ディスク

交換 **29**

故障 **28**

対応 **25**

追加 **27**

フォーマット済みのディスク **26**

ディスクが同梱されていないモデル **7, 26**

### ディスクトレイ

Duo **12**

NV+ **20**

適合宣言 **37**

電気に関する安全 **35**

電池 **35**

## と

### ドライブベイ

Duo **11**

NV+ **19**

## は

ハードウェア互換性リスト **25, 26**

### 背面

Duo **13**

NV+ **21**

## ふ

### ブートメニュー

Duo **15**

NV+ **23**

### ブートメニューのトラブルシューティング

Duo **15**

NV+ **23**

フォーマット済みのディスク **26**

## ほ

ボリューム同期 **8, 28, 30**

## め

メールアラート **28**